

令和5年度（神奈川県立岸根高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての自覚を持ち、公務外においても不祥事の防止に努める。	ア 不祥事防止会議、不祥事防止研修を定期的実施し、不祥事防止の意識を高められた。 イ 公務員としての意識を向上させるため、管理職や同僚による声掛けがいつでもできる、風通しのよい職場づくりを推進した。
② 職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	円滑なコミュニケーションを通して職場でのハラスメントの防止に努める。	ア 円滑なコミュニケーションを築くために、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めた。 イ 6月の不祥事防止研修でチェックシートによる自己の振り返りを行うことで、ハラスメント行為を起こさせない意識を醸成することができた。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権を配慮したコミュニケーション手段の適正な利用	ア 生徒指導・相談等は必ず複数で対応するよう徹底できた。 イ 生徒の連絡先の収集・管理方法についてルールを周知し、すべての教職員で遵守した。 ウ わいせつ・セクハラ防止については、ロールプレイングを取り入れたり、不祥事防止職員啓発・点検資料を用いて研修し、生徒の人権に配慮した適切な言動を行うことを徹底することができた。
④ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な指導をなくす。	ア 職員人権研修でアンガーマネジメントを学ぶことにより、生徒に対することばづかいに留意して生徒の人権を尊重するとともに、個別指導を複数で行い、体罰や不適切な指導を防止することができた。 イ 管理職による校内の定期的な巡視を行った。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、定期試験、成績処理、進路関係書類に係る不適切な事務処理の防止	ア 新しい入試制度における入学者選抜マニュアルを作成し、各業務を丁寧に行って必ず複数で確認し合い、正確かつ公正な選抜を行うことができた。 イ 不祥事防止研修会や採点業務説明会等入学者選抜業務の研修会を充実させて業務にあたる際の心構えを確認し、採点時にミスを起こさない環境づくりに努めた。 ウ 定期試験、成績処理、進路関係業務において、マニュアルに基づき、複数で確認しながら事故防止に努めることができた。 エ 通知表配付前に複数による点検を充実させた。
⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	生徒に係る個人情報の徹底	ア 個人情報持ち出しに関する手続きを徹底する等、個人情報の紛失、誤廃棄、誤配付、誤送信などの未然防止を徹底した。 イ 情報セキュリティ対策基準に基づき、校内ネットワーク運用要領を改訂し、情報システムに関するべき安全管理を徹底することができた。
⑦ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高め、交通事故の発生を未然に防止する	ア 職員啓発資料やヒヤリハット事例等を周知し、職員の意識向上を図ることができた。 イ また、教育公務員として交通法規の遵守及び交通安全の意識を高めることができた。
⑧ 業務執行体制（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員間の相互チェックや情報共有による適正な業務の遂行	ア 各業務において、業務内容について職員間で十分に情報を共有し、相互チェックを行うことができた。 イ 日ごろから情報を共有し、気になることはそのままにせず、声をかけ合い、協力して業務を遂行することができた。
⑨ 会計事務等の適正執行	財務規則等を遵守した適切な事務手続の徹底	ア 公正な予算編成と適切な会計処理に努めるとともに、新しい私費会計基準に則って、職員会議や朝の打ち合わせ等で会計担当者に適切な会計処理の方法を周知する。 イ 年3回会計監査を実施し、私費会計の執行状況を確認するとともに事故防止に努めることができた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・令和5年度の不祥事ゼロプログラムについては、定期的に不祥事防止会議や不祥事防止研修を実施するとともに、早急に周知が必要な事案が発生した場合は、朝の打ち合わせ等で注意喚起を行った。今年度は性暴力についてロールプレイングを用いて不祥事防止研修を実施し、適切な生徒対応について教職員の理解を深めることができた。また、職員人権研修でさまざまな特性を持つ生徒に対する適切な接し方や教員自身のアンガーマネジメントについて専門的な知識を持つ本校同窓会長を外部講師に招聘するなど体罰・不適切指導の防止に努めた。
- ・令和6年度入試から制度が変わり、出願システムが導入されるとともに、従前の面接試験を廃止し、選考基準を変更したことに対応してマニュアルを作成し直し、事故防止のための研修を充分に行った。
- ・令和6年度も引き続き、各課題について、不祥事防止会議、不祥事防止研修会等を活用して不祥事ゼロを目指すこととしたい。
- ・特に定期試験や成績処理について不祥事ゼロプログラムにおいて重点化し、試験作成・点検を教科で充分に行うとともに、試験監督はテスト開始までに問題用紙や解答用紙を確認するなど、改めて業務に当たる際の留意点などを再確認し、複数による点検作業やその他の業務を慎重かつ丁寧に行い、ミスを決して起こさない環境づくりに努めることとしたい。